

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和5年第27週の発生動向

トピックス

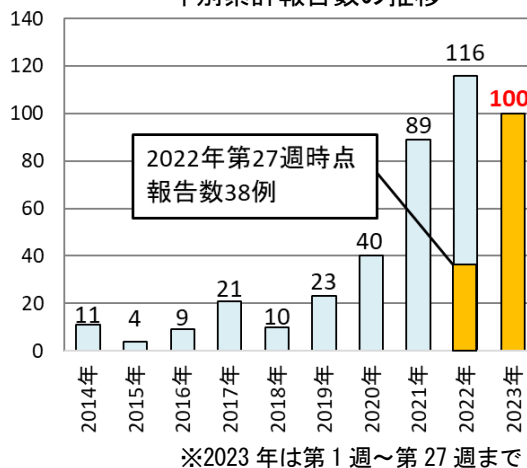
・**梅毒**(全数報告の感染症)の報告数が昨年と比べて大幅に増加している。診断週による累積報告数は100例と、1999年以降最も多くなった前年(116例)の第27週時点(38例)を超えており、今後も増加が懸念される。

性別は男性が58例、女性が42例で、年齢群別では、20歳代から30歳代が全体の約6割を占めている。また、保健所別では宮崎市保健所管内からの報告が最も多く、67例となっている。

【梅毒】2023年(第1週~第27週)年齢別報告数

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
13	33	26	19	7	2

【梅毒】診断週による年別累計報告数の推移



全数報告の感染症 (27週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核1例。3類感染症：報告なし。
4類感染症：報告なし。5類感染症：梅毒4例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	日向	70歳代	男	肺結核	呼吸困難
5類	梅毒	宮崎市	40歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			40歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			40歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
		延岡	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は2,138人(定点当たり44.4)で、前週比119%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、咽頭結膜熱及びA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は928人(16.0)で、前週比166%と増加した。高千穂(33.0)、延岡(24.4)、中央(22.0)、宮崎市(17.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

【インフルエンザ】

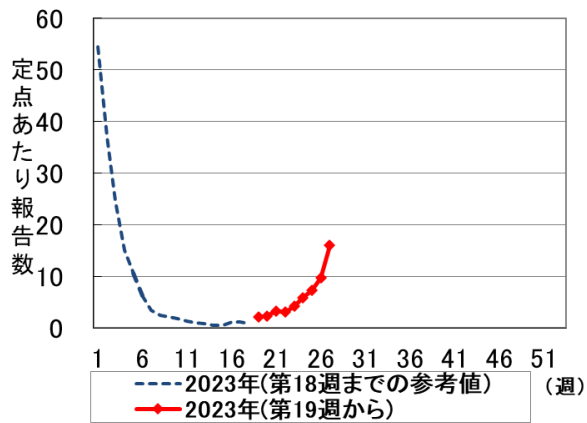
報告数は512人(8.8)で、前週比120%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.07)の約119.3倍であった。中央(23.0)、宮崎市(16.4)、都城(11.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

【ヘルパンギーナ】

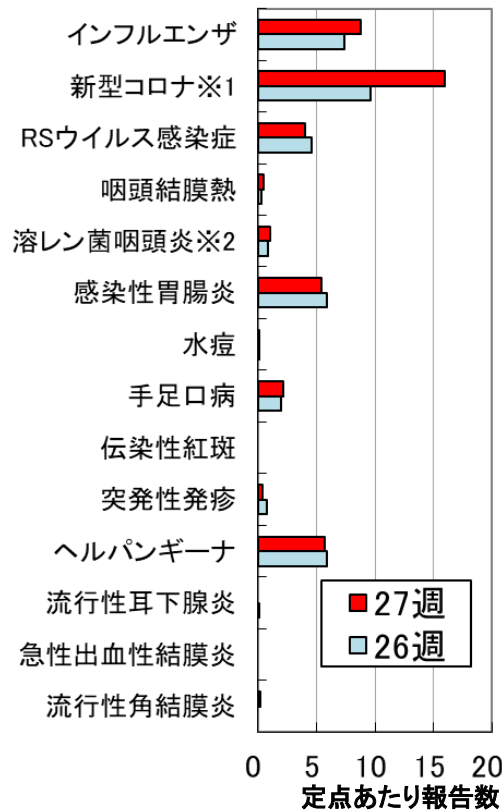
報告数は207人(5.8)で、前週比98%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点あたり平均値*(0.60)の約9.6倍であった。小林(15.3)、延岡(8.3)、日向(7.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

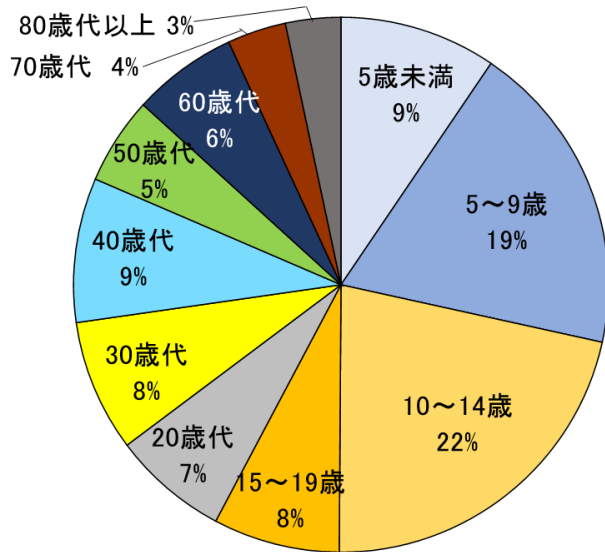
新型コロナウイルス感染症 発生状況



《前週との比較》

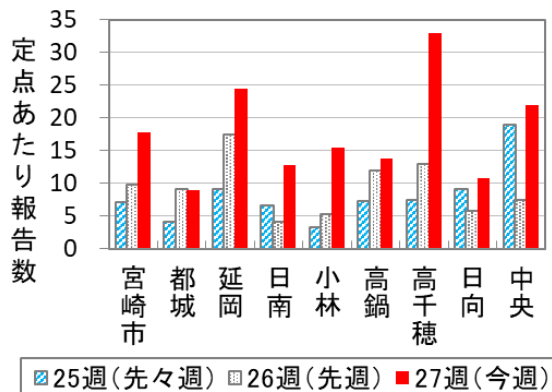


新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第27週)

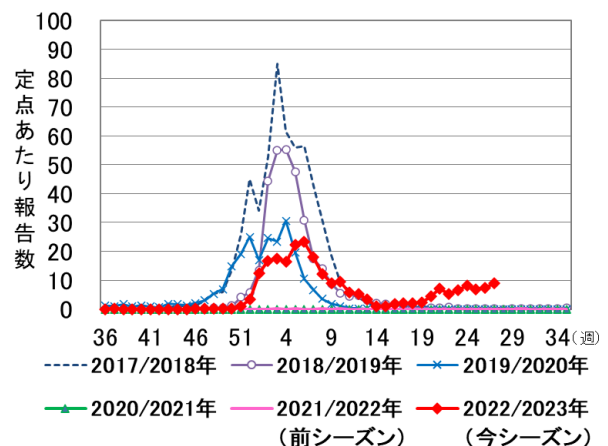


※新型コロナウイルス感染症の第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

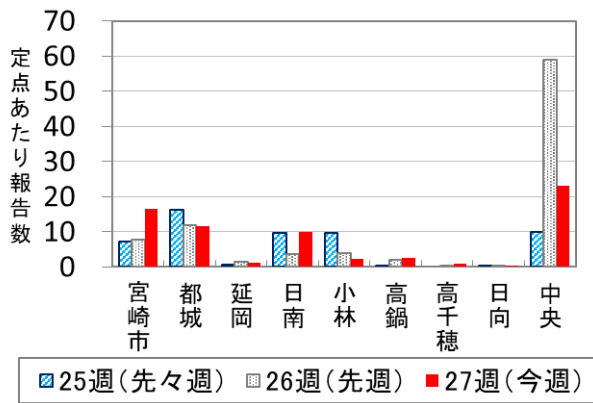
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



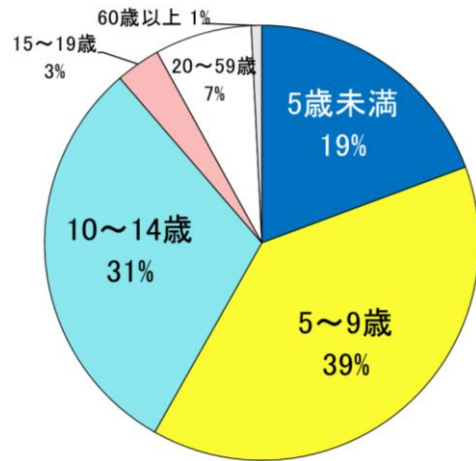
インフルエンザ 発生状況



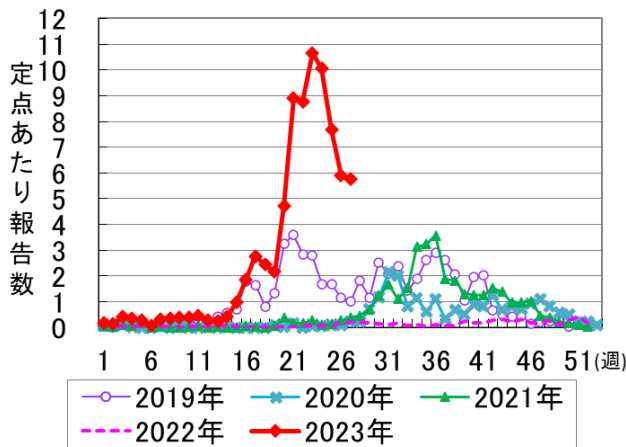
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



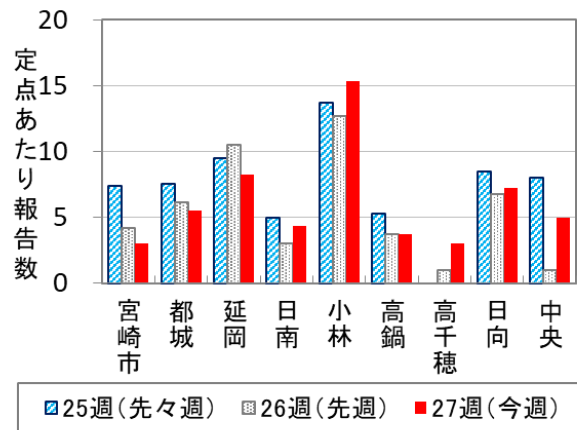
インフルエンザ年齢群別グラフ(第27週)



ヘルパンギーナ 発生状況



ヘルパンギーナ 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(16.4)
都城	インフルエンザ(11.7)
延岡	手足口病(5.0)、ヘルパンギーナ(8.3)
日南	インフルエンザ(10.0)
小林	ヘルパンギーナ(15.3)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	手足口病(9.5)、ヘルパンギーナ(7.3)
中央	インフルエンザ(23.0)

※流行警報レベル開始基準値※

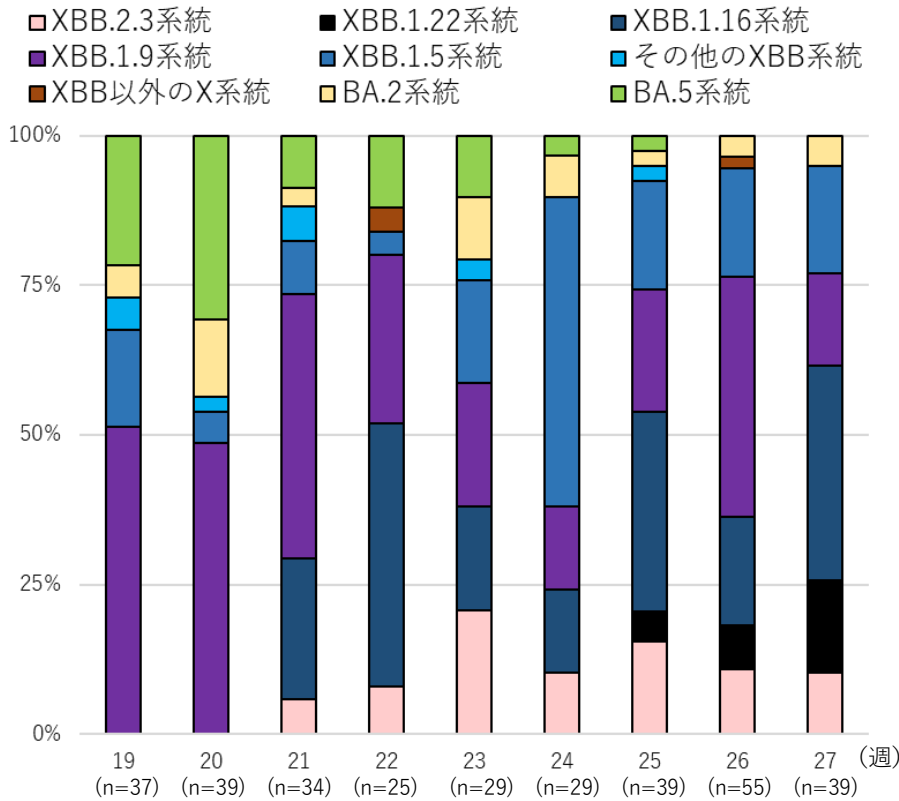
- ・手足口病(5)
- ・ヘルパンギーナ(6)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統



XBB 系統は第 27 週で約 95%を占め、特に XBB. 1. 16 系統が約 36%を占めた。

「X」で始まる名前は遺伝子組換えで発生した系統に付けられる。

XBB は BJ. 1 (BA. 2. 10. 1 系統) / BM. 1. 1. 1 (BA. 2. 75. 3 系統) の組換え株である。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多くない場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスの PCR 陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

🇯🇵 全国 2023 年第 26 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	252 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	139 例		
4類感染症	E型肝炎	10 例	A型肝炎	3 例	エキノкокクス症	1 例
	エムポックス	2 例	回帰熱	2 例	重症熱性血小板減少症候群	5 例
	チクングニア熱	1 例	つつが虫病	3 例	デング熱	1 例
	日本紅斑熱	7 例	マラリア	1 例	ライム病	2 例
	レジオネラ症	60 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	24 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	18 例	後天性免疫不全症候群	11 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	16 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	13 例	水痘(入院例)	6 例
	梅毒	205 例	播種性クリプトコックス症	3 例	破傷風	4 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	13 例	風しん	1 例
	麻しん	2 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比106%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症とヘルパンギーナで、減少した主な疾患は水痘と流行性耳下腺炎であった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は35,737人(7.2)で前週比118%と増加した。沖縄県(48.4)、鹿児島県(13.5)、千葉県(9.9)からの報告が多く、年齢群別では20歳未満が全体の約3割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は20,360人(6.5)で前週比112%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.64)の約10.2倍であった。宮城県(15.9)、三重県(12.4)、鹿児島県(11.0)からの報告が多く、年齢群別では1歳から5歳が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2023年 第27週(07月03日～07月09日)

疾病名		第26週	第27週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	426	512	263	117	8	50	9	15	2	2	46
	定点当り	7.34	8.83	16.44	11.70	1.14	10.00	2.25	2.50	1.00	0.33	23.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	560	928	284	89	171	64	62	83	66	65	44
	定点当り	9.66	16.00	17.75	8.90	24.43	12.80	15.50	13.83	33.00	10.83	22.00
RSウイルス感染症	報告数	165	146	44	28	16	16	5	13		13	11
	定点当り	4.58	4.06	4.40	4.67	4.00	5.33	1.67	3.25	0.00	3.25	11.00
咽頭結膜熱	報告数	9	17	11	1	2	1	1	1			
	定点当り	0.25	0.47	1.10	0.17	0.50	0.33	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	31	37	16	8	3	1		3		4	2
	定点当り	0.86	1.03	1.60	1.33	0.75	0.33	0.00	0.75	0.00	1.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	211	196	38	53	3	15	37	13	3	30	4
	定点当り	5.86	5.44	3.80	8.83	0.75	5.00	12.33	3.25	3.00	7.50	4.00
水痘	報告数	1	2	1							1	
	定点当り	0.03	0.06	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	71	79	6	5	20	3	1	5		38	1
	定点当り	1.97	2.19	0.60	0.83	5.00	1.00	0.33	1.25	0.00	9.50	1.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	26	13	5	1	1	1	1	2		2	
	定点当り	0.72	0.36	0.50	0.17	0.25	0.33	0.33	0.50	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	212	207	30	33	33	13	46	15	3	29	5
	定点当り	5.89	5.75	3.00	5.50	8.25	4.33	15.33	3.75	3.00	7.25	5.00
流行性耳下腺炎	報告数	2										
	定点当り	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.17	0.33	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第1週～27週保健所受理分)

2類感染症	結核	62例(1)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7例	腸チフス	1例
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	10例	つつが虫病	10例
	レジオネラ症	2例		日本紅斑熱
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	4例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性肺炎球菌感染症	8例	水痘(入院例)	2例
	播種性クリプトコックス症	3例	破傷風	1例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
			梅毒	104例(4)
			百日咳	4例

()内は今週届出分、再掲